



可逆性感温変色色素



クロミカラー MS パウダー LF グレード

1) 概要

温度によって色彩が変化する可逆性感温変色色素です。

目的に応じた溶剤タイプの透明インキに配合しスクリーン印刷、
 或いはグラビア印刷を行うことにより感温変色性の印刷物が得られます。
 また、成形樹脂用のドライカラーとして目的に応じた樹脂へ配合すれば
 感温変色機能を有するカラードペレットやマスターバッチが得られます。

2) 性状

	クロミカラー MS パウダー LF グレード
外観	各有色パウダー
組成	マイクロカプセル状感温変色性色素
平均粒径	2.0 ~ 4.0 μm (FAST YELLOW のみ 3.0 ~ 5.0 μm)
密度 (g/cm ³)	1.05 ± 0.05
嵩密度 (g/cm ³)	0.3 ± 0.05



カラー / 温度タイプ

カラー全 11 色

-  Fast Yellow
-  Gold Orange
-  New Vermilion
-  Pink 2
-  Magenta
-  New Fast Blue
-  Turquoise Blue
-  Green 2
-  Brilliant Green
-  Fast Black 2
-  Brown

温度タイプ

- タイプ #5
- タイプ #10
- タイプ #15
- タイプ #17
- タイプ #20
- タイプ #25
- タイプ #27
- タイプ #35
- タイプ #37

3) 留意事項

- ・密栓して 30℃以下の冷暗所で保管して 6 ヶ月以内にご使用下さい。
- ・吸湿した場合、油性インクへの分散性が悪くなります。
80℃×3 時間の乾燥を行ってからご使用下さい。
- ・メタノール、アセトン、DMF などの極性の高い有機溶剤の使用や、有機溶剤と水の混合溶媒の使用はお避け下さい。ポットライフが短くなります。
- ・ミキサー攪拌だけでは 1 次粒子まで解れないため、発色濃度に振れが発生します。
ロールを 2 ～ 3 回通すことで、一次粒子まで解れ安定した発色濃度を得ることができます。
- ・一般顔料に比べ着色力が弱いため、高濃度でご使用下さい。
- ・消色温度より 5℃以上高い温度で消色させた場合温度履歴が残り規定の発色温度で発色しない場合があります。その場合、規定の発色温度より 5℃以上低い温度に一旦冷却することで正常な消発色温度に戻ります。
その傾向は特に青色で顕著に現れます。
- ・レトルト処理により退色するため、レトルト処理を行う容器への使用は避けて下さい。
- ・耐光性に乏しい為、その性質を考慮した上で商品化をお願い致します。
- ・ロット間で発色濃度が約一割程度振れることがあります。
- ・EU 規制値未満のホルムアルデヒドを含みます。また SNUR 対象製品です。
御使用にあたっては SDS をお読み下さい。

※ご使用の際には必ず貴社での性能確認をお願い申し上げます。

株式会社松井色素化学工業所

〒607-8466 京都府京都市山科区上花山桜谷 64 番地
(075)594-5611 (075)501-8106
msc_information@msc-color.co.jp www.msc-color.co.jp

